

# まもるくん通信

交通事故ゼロ・苦情ゼロを目指して



第10号  
令和5年11月14日発行

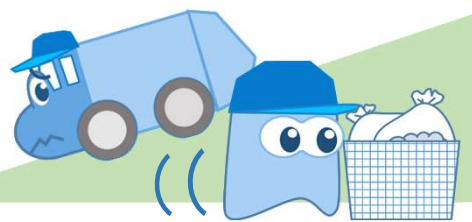
## ◆駐停車時はしっかりブレーキ！

フットブレーキの踏み込み不足やサイドブレーキのかけ忘れによって、**停止した筈の車両が動き出し、周囲の物に衝突する事故**が頻発しています。

収集車は車体が大きく非常に重いため、速度が出ていなくても人や物に接触すれば重大な事故に至ります。特に、作業対象が密集していて車両の乗り降りが連続する場面では、サイドブレーキを忘れないよう注意しましょう。

待って！

ブレーキかかってないよ！



### もしもの時は…

動き始めた自動車を手で押さえて止めようとした運転手が、車体と壁の間に挟まれ死亡する事故が実際に起きています。

初動は遅く見えても、何れもある自動車を**人力で止めることはほぼ不可能**です。万が一車が動き出した際は**大声で周囲に警告**し、被害の拡大を防ぎましょう。

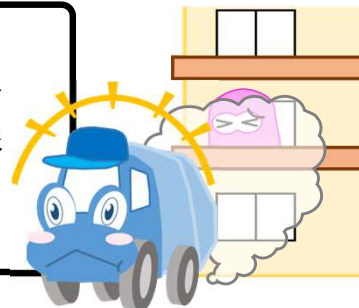
## ◆その休憩、迷惑になっていませんか？

休憩中の収集車に対する苦情、特に**アイドリング中のエンジン音**についての指摘が増えています。休憩自体は運転手の体調維持のためにも必要な行為ですが、近隣に迷惑が及ばないように、充分配慮してください。



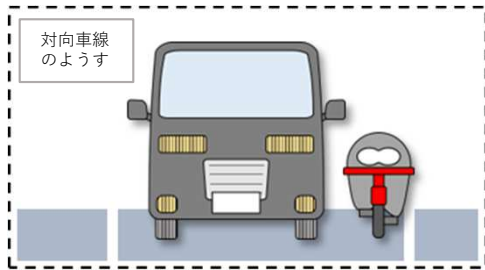
### 苦情の原因は休憩以外にも

**排ガスフィルターの燃焼浄化作業**は、音や振動、排煙に関する苦情の原因となり得ます。警告ランプ点灯時は、周囲に悪影響が及ばないように充分配慮した上で作業をしましょう。

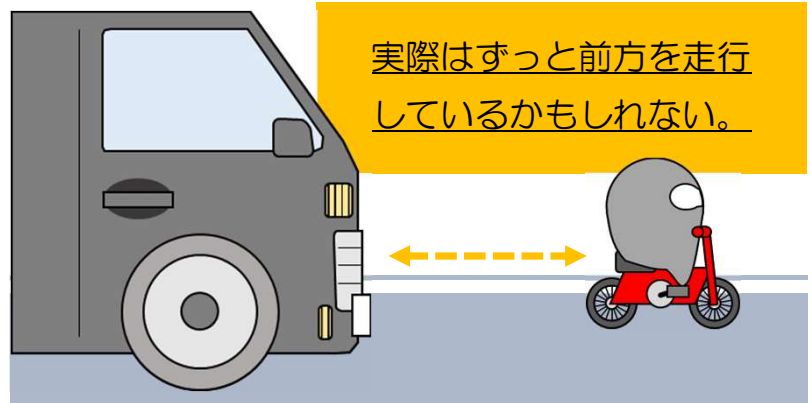


## ◆その自転車、思っているより近いかも

十分に安全を確認してから交差点に進出したつもりが、対向車線のバイクや右左折先の自転車・歩行者が想定していたよりずっと近くに来ていて接触しかけたことはありませんか。**自転車等の小さな車両や歩行者は実際の距離より遠くにいるように見える**ため、不慮の事故を防ぐためには、自分の感覚以上に十分な間隔を空けておくことが有効です。



正面から見ると車と同じ位置に見える自転車も…



収集作業が多く行われる深夜・早朝は、暗く視界が悪い上に、交通量が減少することから自転車や歩行者の交通安全意識も薄れがちです。「あの物陰から歩行者が飛び出すかもしれない。」「あの自転車は赤信号を無視するかもしれない。」という『**かもしれない運転**』を徹底して事故の発生を防止しましょう。



### ミラーの距離感も再確認

ミラー越しに後方車両を確認する際は、**直接目視するより更に離れて見える**ことを意識しましょう。特に、自転車やバイクは前方車両の隙間のすり抜けを行う可能性があるため、自車の右左折時に巻き込み事故が起きないように、そうした小型車両が危険な位置に来ていないか注意が必要です。

### 【コラム】～車両火災の防止に向けて～

今年度、ごみの収集作業に伴う火災が5件発生しています。（11月現在）火災は車両の損傷や従業員の負傷に繋がるだけでなく、焼却工場内で発生すれば、市のごみ処理事業全体にまで影響が及ぶ可能性があるため、確実な防止が必要です。

火災の原因となるごみは様々で、特に**マッチやライター、スプレー缶、ガスボンベ、リチウムイオン蓄電池**等の品目は引火性・危険性が高いため焼却工場の受入不適物に指定されています。

排出者の分別状況を改善するため、また、作業員の皆さん自身の安全を守るために、収集時はごみの状態確認を丁寧に行い、危険なごみが含まれている場合は残置しましょう。